


2023(令和5)年度

事業報告書

2023(令和5)年4月1日~2024(令和6)年3月31日

 社会福祉法人神愛会

2023（令和5）年度 事業報告

2023 年度も各方面からの様々なご支援によって神愛会の事業を行うことができました。感謝をもってご報告申し上げます。

本年度は 2024 年年明けに特別養護老人ホーム愛の園のユニットで新型コロナウイルスのクラスターが発生するなど、感染症対策と事業運営を両立せざるを得ない厳しい状況が続きました。このため、ボランティアや入居者のご家族の面会を受け入れることが十分に行えないなど、当初思い描いていたような事業運営は十分に行えませんでした。

2023 年度も特別養護老人ホーム愛の園にあっては人材の確保という大きな課題を抱え、また深和ホームにあっては入居者の伸び悩みなど、法人にとっては非常に厳しい状況が続きました。

そして、パンデミックが4年以上続いた難しい社会情勢の中、多くの課題を抱えながらですが、地域社会の中で役割を担う施設としてのあり方が検討されました。

特別養護老人ホーム愛の園では課題となっている各種専門職の確保について、一進一退を繰り返す状態が続いています。このため、目標としていた閉鎖中ユニットの再開が実現できませんでした。しかし、短期入所事業についてはかなり業績が上向いています。

法人全体において、労働環境の改善、職員の育成、採用活動の充実、そして感染症対策をはじめとするリスク管理（BCP の実際的な運用）など、新年度もあらためて覚悟を持って取り組まなければなりません。

デイサービスも新型コロナウイルス感染症の影響があり稼働率が改善しない状況が続いています。実際感染者が通所するなどしたことにより、デイサービス内で館内感染を引き起こす事態となりました。クラスターとなるような大規模なものではありませんでしたが、その都度営業を見合わせることで2度ありました。やはり、年間を通して安定した運営が行えるよう精緻な感染対策など様々な工夫が必要です。

深和ホームについても新型コロナウイルス感染症の影響で体験入居の取り組みが制限されたことなどが影響し、新たな入居者は伸び悩みました。このように慎重な運営が求められる中、結果的に経営状態の改善には至らず、覚悟をもった対応が必要です。

居宅介護支援事業所については、3名の介護支援専門員が個々で持てる利用者の定員いっぱいを担当している状況です。介護支援専門員の増員を計画しましたが実現しませんでした。比較的安定した運営はできていますが、今後増え続ける居宅介護支援のニーズに対応するためにもやはり新たに介護支援専門員を増員させることが大切だと考えています。

喫茶・傾聴・レクリエーション・ヨガ・マッサージ等のボランティア活動は新型コロナウイルス感染症の影響で受け入れることができませんでした。このような状況の中、園芸ボランティアだけは屋外での活動であるため、毎週土曜日にご奉仕いただき、今年もきれいな花を咲かせていただきました。

また、愛の園後援会、愛の園家族のからの支援についても、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、活動が制限されました。その中で、介護用ベッドやセンサーマットなどの寄贈を受けました。特にセンサーマットは必要なお入居者多いため本当に感謝しています。

法人内研修では、新型コロナウイルス感染症の感染対策のため、集合研修の開催を制限し、



理事長 宮崎靖子

研修のほとんどをインターネットを介して動画視聴と言う形をとりました。やむを得ないとはいえ、今後研修の効果がどれほどあったのか検証する必要があります。

また、研修と同時に法人内に構築した閉鎖型ソーシャルネットサービスであるメディカルケアステーションの「職場の情報共有」機能を使って、利用者に対するより良いケアを実践するための様々な情報を継続的に掲載してきました。

本年は、「職員手帳 2022 年度版」をベースにしながら、研修内容を組み立ててきました。2024 年度は「職員手帳 2024 年度版」を作成しましたので、こちらをベースにしながら研修を組み立てていくこととなります。

今年も新型コロナウイルス感染症の影響は続きますので、難しい事業運営を余儀なくされますが、「キリストの愛を以って互いに仕える」という神愛会の使命のもと、神愛会の施設で生活する人、利用する人、地域の皆様に必要とされ信頼される働きとなるよう運営を続けてまいります。新しい年度も皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

2023年度 主要事業報告

年月日	部門	行事・会合等	備考
2023/4/1	法人	全体職員会	
2023/4/10 ～4/12	法人	職員健康診断	
2023/4/6	特養	和歌山県会議員不在者投票	
2022/5/1	法人	新任者研修	
2023/5/6 ～5/22	法人	事故を防止するために 私たちができること ネット配信 レポート提出	
5/1	愛の園	新任者研修	
2023/5/8	法人	会計士監査 西会計士	
2023/5/13	法人	監事監査 修女院にて	
2023/5/15	愛の園	新任者研修	
2023/5/6～ 5/22	神愛会	園内研修 事故を防止するために私たちが できる事 (ネット配信)	
2023/5/26	愛の園	新任者研修	
2023/5/18	神愛会	学卒求人 説明会	
2023/5/28	愛の園	入居者 コロナ感染症ワクチン接種	
2023/6/1	愛の園	新任者研修	
2023//6/1	特養	令和6年度学卒求人申し込み	
2023//6/1	法人	新任者研修	
2023/6/20	法人	第1回評議員会(書面決議にて) 2022年度決算報告 事業報告	
2023/6/24	法人	第1回役員会 理事長選任 他	
2023/6/25～	愛の園	認知症介護基礎研修 以降4名	
2023/6/29	法人	上富田町人権擁護委員会 役員会	
2023/6/30	法人	法人登記 五寫事務所	
2023/7/5	愛の園後援会 役員会	愛の園 地域交流スペースにて	
2023/7/14	法人	年金委員会 総会	
2023/8/12	法人	福祉介護の仕事フェア ガーデンホテルハナヨ 対面方式	
2023/8/21	法人	和歌山県物価高騰支援金 申請	
2023/8/21	特養	愛の園家族の会 役員会	
2023/8/21～ 28	法人	研修 人権擁護 YouTube 動画を利用して	

2023/8/～	特養	夏祭り フロアごとに複数日程にて開催	
2023/8/26	特養	4ユニット（ショート）稼働開始 6ユニット長期入居者が4ユニットへ移動 6ユニットを5ユニットと合わせてショートユニットとして利用開始	
2023/8/28	法人	和歌山県障害・高齢者雇用説明会	
2023/9/1	特養	愛の園後援会 記念品贈呈式 ベッド2台 介助バー2本	
2023/9/8 ～9/20	法人	研修 倫理および法令遵守（コンプライアンス）について YouTube 動画を利用して	
2023/9/8 ～9/15	特養	新型コロナクラスター発生（10 ユニット）	
2023/9/15	特養	紀南人材バンク 施設見学会	
2023/9/25	上富田町長敬老表 敬訪問	100 歳以上の入居者 7名参加	
2023/9/26	法人	36 協定 協定の締結	
2023/9/30	法人	創立記念式典 1F ステーション前にて小人数で開催 永年勤続表彰 15年2名 5年5名	
2023/10/1	特養	愛の園入居者 第7回コロナワクチン接種	
2023/10/16 ～10/27	法人	研修 事の成功率を上げる準備力と失敗を成功に活かす思考力とは YouTube 動画を利用して	
2023/10/25	特養	入居者レントゲン	
10/25～31	特養	夜勤者健康診断	
2023/11/3	法人	逝去者記念礼拝	
2023/11/4	特養	焼き芋会	
2023/11/15～	法人	インフルエンザワクチン接種	
2023/12/8 ～12/22	法人	研修 冬季に感染する感染症の概要と予防策について YouTube 動画を利用して	
2023/12/11	法人	日本経営（コンサルタント）契約	
2023/12/25	特養・深和ホーム	クリスマス会（各ユニットにて）	
	特養	クリスマス礼拝	
2024/1/1	法人	新年祝賀朝礼	
2024/1/5 ～1/17	特養	新型コロナクラスター発生（10 ユニット）	
2024/1/8	デイサービス	新型コロナ感染症 発生	

2024/1/29 ~2/15	法人	研修 共生社会をの實現を推進するための 認知症基本法と認知症の人の意思決定支 援について YouTube 動画を利用して	
2024/2/3	特養	介護の仕事フェア (ビッグ U)	
2024/2/26 ~3/18	特養	和歌山福祉専門学校 研修生受入れ	
2024/2/5	法人	会計士指導	
2024/3/31	特養	イースター礼拝	
2024/3/31 ~4/14	法人	研修 看取り介護について YouTube 動画を利用して	



社会福祉法人神愛会 2023年度 事業報告

社会福祉法人神愛会は2023（令和5）年度、以下のような事業方針、事業計画を立て事業運営を行いました。これらの事業方針・事業計画の実施報告をさせていただきます。

《事業方針》

1. 常に神愛会の理念に立ち返り、利用者本位のサービスに努めます。
2. 利用者の豊かな生活を支援するため、常にサービスの質の向上に努めます。
3. 福祉専門職としての資質向上を目指し、常に自己の研鑽に努めます。
4. 地域に開かれた事業を進めるため、様々な人々と連携に努めます。

事業報告は以下の枠で囲った部分になります。

《事業計画》

2023年度基本方針

社会福祉法人神愛会の理念である「キリストの愛を以って互いに仕える」に従いながら、キリストに愛を以って、助けを必要とするすべての人のために奉仕できるよう、運営する事業が安定して最善のサービスが提供できるようにします。

より具体的な方針や指針、ルールをまとめた「職員手帳」を基本としながら、適切なケアとコンプライアンスの徹底を図っていきます。

社会福祉諸法の理念に基づき、利用者の尊厳を守るとともに、法人の物的、人的資源を社会貢献のために有効に活用できるようにします。

1. 理念の継承

- ① 神愛会の基本理念・使命を継承する活動を進めます。

概ね新たに出勤する初日に行っている、新採用研修（2023年度は8名が参加）において、時間をかけて神愛会の理念や使命、事業方針を説明するとともに、創業の地である岩田の旧修女院を見学して、「キリストの愛を以って互いに仕える」ということの意味を理解する機会を創出した。また、「職員手帳2022年度版」を使用しながらより深く学べるように工夫した。

神愛会で構築している閉鎖型SNS（ソーシャルネットワークシステム）メディアルケアステーションを活用して、愛の園職員手帳2024年度版の作成に際し、ここに掲載されている理念や使命の継承に関係ものや宮崎理事長の講和を動画撮影したものなどを、適時配信してきました。配信回数は年度後半には週5から6回配信してきました。

2. サービスの質の向上

① 特別養護老人ホーム（ショートステイを含む）では、2020年度中に作成した「ケア方針」「生活目標」「ケア指針」（参考1）をより適切なケアを実践するための拠り所としながら、ユニットケアの充実を図り、より安心・安全な生活を実現する介護を実践します。

また、そのために必要な介護・看護人材の確保については、あらゆる手段を使って行います。この手段の一つとして Instagram や Facebook といった SNS を活用して、ご入居者の生活の様子や職員の働く姿をできるだけ毎日発信していきます。このことで、感染症対策を徹底することでより閉鎖的になった現場のオープン化を進めていきます。

同時に職員の離職を防ぐための取組を実践していきます。具体的には各種ハラスメントの防止、個別面談の実施、より生産性を高めるための ICT やロボットの活用なども研究していきます。

その結果として、閉鎖中ユニットの早期再開を目指し、居室稼働率 90%を実現させます。

介護・看護職員の充実については、ある程度の新規採用者があったものの、介護・看護人材の採用難の状況は続いている。このため、サービスの質の向上という面では非常に厳しい状況であった。このため、閉鎖中のユニットの再開は達成できなかった。しかし、短期入所については徐々に稼働率が向上しています。

「ケア方針」「生活目標」「ケア指針」については、職員手帳を活用した研修やメディカルケアステーションを活用した記事配信などでより意識づけることができた。特に、コロナ禍だからこそ疎かにしがちな、接遇と適切なケアの充実を意識した研修を行い、ある程度の効果が見られたと考えている。また、職員手帳 2024 年度版を職員からの意見などを集めながら作成し、2024 年 4 月にようやく完成した。今後もこの新しい職員手帳をベースにしながら研修などを組み立ていく予定です。

② デイサービスセンターでは、まず利用者一人一人が営む日常生活全体を丁寧に見つめ、個別的な生きづらさを共感していきます。その上で、住み慣れた自宅での暮らしができるだけ継続できるように必要な健康及び体力の増進、そして生きる意欲の向上を図ります。

特に個別機能訓練を充実させ、計画的で継続的なレクリエーション活動の工夫と実践を行います。利用者に対するすべてのケアにあっては、より適切なケアを指向し、丁寧に科学的な根拠を求めながら実践していきます。

また、これまで活用してきた職場内 SNS 「メディカルケアステーション」

の横展開をすすめ、地域の居宅介護支援事業所等とのより効果的な連携体制が構築できるようにします。

そして、利用者一人ひとり状況、状態に合わせて、職員と設備の運用を最適化し、効率的かつ安全性と快適性を高めた上で、年間の利用者数 6000 人を実現させます。

デイサービスセンターの利用者数については 2023 年度も稼働率が 50%程度と振るわなかった。新型コロナウイルス感染症の影響で、営業を止めることも数度あり、利用者が安定して通所することができなかった。加えて、ここ数年で地域に通所介護事業所が乱立しており、いわゆる過当競争の状況であることも利用者数の減少に拍車をかけている。

加えて、愛の園の短期入所事業が軌道に乗り始めたこともあり、通所介護の利用者が短期入所を度々利用するような状況となったこともある。

科学的な根拠をもとにしながらケアを進めることについては、バイタルサインなどをまとめた担当介護支援専門員への報告書の作成を継続しており、概ね対応できているものと考えている。科学的介護情報システム（LIFE）の活用も試みている。

また、看護師の新たな採用が実現し、運動プログラムの充実や嚥下体操などが行えるようになった。

③ 深和ホームでは、あらゆる手段を講じながら新規入居者の獲得を進め、全ての部屋への入居を実現させます。の手段の一つとして Instagram や Facebook といった SNS を活用して、深和ホームにおける生活の様子を発信していきます。

また、人的、設備的資源を最大限活用しながら、様々な事業を模索し挑戦していきます。そして、入居者の高齢化に伴い地域の訪問介護・訪問看護との連携、施設の維持管理に対応し、入居者の安心、安全への対応に努めます。

新型コロナウイルス感染症の影響で体験入居の取り組みが制限されたことなどが影響し、新たな入居者が伸び悩んだ。結果的に経営状態の改善には至らず、運営については覚悟をもって対応していく必要がある。

これまでの、インターネットや紙媒体の広告だけでなく、和歌山県内の地域包括支援センターに対して直接出向いて営業活動を行うなどしている。

④ 居宅介護支援事業では、引き続き上富田町を中心にした地域包括ケアシステムの実現に努めるとともに、この圏域で仕組み作りが進められている在宅医療・介護の連携システムがより円滑に機能するように最大限の協力をしていきます。また、介護支援専門員の増員を図り、特別事業所加算Ⅱの算定を行うます。そして、ICT の活用等による業務の効率化を行い、逡減制の上限の緩和に対応してい

きます。

3名の介護支援専門員が個々で担当できる利用者の定員いっぱいまで対応している状況である。介護支援専門員の増員を計画したが、実現しなかった。今後増え続ける居宅介護支援のニーズに対応するためにはやはり新たに介護支援専門員を増員が求められます。

上富田町を中心にした地域包括ケアシステムの実現に向けて、上富田町地域ケア会議への積極的な参加、個別ケア会議への事例提出など協力ができました。

法人で取り入れている閉鎖型 SNS であるメディカルケアステーションを効果的に使用することで、ICT への対応もある程度は出来ている。業務の効率化という観点ではこれからであるが、遞減性の上限緩和を行うことができとえり、介護支援専門員1名で担当できる利用者数を数名増やすことができています。

ICT の活用などを柱にしなが生産性を向上させていく必要があることから、今後は ICT に対応できるケアプランシステム (iPad などを活用した屋外での記録作成や、他事業所とのケアプラン連携など) を導入していく必要があります。

- ⑤ 大規模災害や未知の感染症蔓延を想定した事業継続計画 (BCP) を策定します。事業継承計画 (BCP) については 2023 年度末をもって策定の努力義務の期間が終了するため、具体的な策定を急ぎます。

事業継続改革 (BCP) は完成しましたが、今後は具体的に有事に運用ができるように、相当の研修や訓練が必要となります。

- ⑥ 感染症対策については、以前猛威を振るう新型コロナウイルス感染症の対策には万全を尽くしていきます。特に 2023 年 1 月に特別養護老人ホーム愛の園でクラスターが発生したことを鑑みて、より具体的で実践的な対応が迅速に行えるように努めていきます。

新型コロナウイルス感染症が 5 類に変更され、社会における感染対策の意識が徐々に緩和しています。しかし、高齢者施設としては何ら変わらない対応が必要であると考えています。現に、2024 年 1 月に愛の園 3 階でクラスターが発生しました。今後も、緊張感をもって感染対策を実施していきます。

- ⑦ 身体拘束を含む虐待の防止については、「職員手帳」に記された指針などを、職員研修などを通じて繰り返し確認する機会をつくります。

職員手帳を活用した取り組みは十分にできていると考えています。また、愛の園職員手帳 2024 年度版を作成しました。より現実に即した内容に加筆修正しています。今後も、この新しい手帳をベースにしなが、理念の継承や職員研修を実施してい

きます。

⑧ 地域における公益的な取り組みを検討し実施します。

新型コロナウイルス感染症の影響で、公益的な取り組みを実施することはできなかった。

⑨ 介護職員の養成事業（介護職員初任者研修）を実施します。

新型コロナウイルス感染症の影響で、愛の園館内で職員以外の者を入れて研修することができず、結果的に研修を開催することが出来なかった。

この事業については、和歌山県当局とも相談し、休止することとした。

3. 職員の資質の向上

① 法人内研修の充実を図りながら、「適切なケア」が何であるかを思考し、実践できる職員を養成していきます。具体的には集合研修にこだわらず、eラーニング形式の研修やレポート等の提出物の工夫などを行いより効果的なものにしていきます。また、新人研修については定期的、継続的に開催しながら、適切なケアが現場で均質的に行えるように配慮していきます。

新型コロナウイルス感染症の感染症対策のため、愛の園地域交流ホールを使用した集合研修が行えない状況が続いた。このため、閉鎖型 SNS（ソーシャルネットワークシステム）メディカルケアステーションを活用して、認知症介護や権利擁護、虐待防止、感染症対策などの研修動画を視聴して、それぞれの研修内容に対応したレポート用紙を作成し、全ての職員に提出を求めた。

新採用者研修においては、前述した理念の継承に加えて、愛の園で実際に起こった事故や不祥事などを題材にして、入居者や利用者の権利擁護を意識させることにしている。

② これまでに発生した事故などを教訓にしながら、人権意識と専門的な知識と技術を高め、「不適切なケア」を最小化し、「適切なケア」を最大化するための取組を行って行きます。また、ヒヤリハット報告書の質と量を確保し、必要に応じて現場での検証を行いながら、職員が一丸となって重大な事故を未然に防いでいきます。

新採用者研修にあっては、これまでに発生した事故のケーススタディを行うなどしながら、人権意識を深める取組をおこなった。

「不適切なケア」を最小化し、「適切なケア」を最大化するための取組としては、イーラーニング形式の研修に「職員手帳」の内容に準拠しながら動画視聴とレポー

ト課題を合わせて実施した。

法人としての方針や指針、ルールをまとめた「職員手帳」を活用し、コンプライアンスの徹底を図っていきます。「職員手帳」については 2023 年度に 2022 年度のものを流用することとし、2023 年度中に全ての職員から意見を求めながら、よりよいものになるよう改訂を進めていきます。

職員手帳 2024 年度版 が完成し、今後はこの新しい手帳を活用しながら理念の継承や研修を行っていく予定です。

③ 職場内 SNS「メディカルケアステーション」を活用し、職員の資質の向上に必要な情報を適時配信していきます。

また、「メディカルケアステーション」については導入して3年が経ち、職員の間での利用が活性化しているため、新たな利用方法を模索しながら、将来のペーパーレス化に向けた研究を行っていきます。

「メディカルケアステーション」の活用については、ケアに関わる参考資料、新型コロナウイルス感染症に関する注意喚起、職員研修の動画 URL の配信などを定期的に行った。

加えて、メディカルケアステーションは災害時などの安否確認にも活用できると考えているので、BCP の実的な運用に際し、災害の演習などにも取り入れる予定です。

また、ペーパーレス化については、一部ヒヤリハット報告書や通院報告書などで試験的な運用を開始しています。

④ 介護職員の定着と養成のための研修や個別面談を実施します。具体的には新人職員向けの実技指導や心理的安全性を意識した管理者による定期的な個別面談を行います。

個別面談についてはケアワーカーのみであるが、2023 年秋ごろ順次行った。しかし、新型コロナウイルスによるクラスターの発生などがあり、一旦中止せざるを得ない状況となっている。このような 1 on 1 ミーティングは心理的安全性を高めるために効果的であると言われており、具体的な面接方法などを工夫しながら継続していく必要がある。

今回の面接では、職員手帳 2022 年度版の巻末にある「私の目標」を基にしながら、その目標達成を阻害する要因を確認し合うという形式をとった。しかし、面接する側、される側双方ともはやり 1on1 面接になれていないため、定例化させることと併せて面接力を高めていくことが求められる。

⑤ 介護福祉士他専門資格の取得を支援します。

2023年度の介護福祉士の受験者はいなかった。
今後も、資格取得の支援は積極的に行う。

4. 地域の人々との連携

① 地域の医療・保健・介護機関との連携を強化します。

最低限の連携は継続して行っていると考えているが、新型コロナウイルス感染症の影響で連携が強化されたとは言えない。

② ボランティア活動を充実させます。

ボランティア活動は新型コロナウイルス感染症の影響でほとんど受け入れることが出来なかった。このような状況の中、園芸ボランティアだけは屋外での活動であるため、毎週土曜日に継続的に行うことができた。その結果、常に愛の園玄関前の花壇に花を咲かせていただいた。

③ 後援会、家族の会との協働を充実させます。

愛の園後援会との協働については介護用ベッドやセンサーマットなどの寄贈を受けた。

愛の園家族会との協働については、新型コロナウイルス感染症の感染対策のために、愛の園での行事がほとんど中止されたため、十分な協働が出来なかった。しかし、家族会の総会を行い新たな役員を選出させていただき、今後も続くコロナ禍の中で、ご家族とどのような形でつながりを持てばよいのか協議していきたい。

5. 岩田旧施設の整理

① 岩田旧施設整理のための検討を継続します。

岩田旧施設整理のための検討については、事業運営全体が厳しい状況であることもあり、ほとんど何も進んでいない状況である。

2023年度職員研修報告

A 内部研修

日程	内容	主催・担当・実施団体等	対象	実数	延人数
2023年4月1日	神愛会の理念と沿革 事業方針・計画	主催 研修委員会 宮崎靖子理事長	全職種全職員	14	14
2023年6月1日	神愛会の理念と歴史 神愛会の組織・事業 事業計画 職員研修 身体拘束廃止 就業の知識 倫理綱領 深和ホーム見学	主催 研修委員会 理事長・部門管理者	新採用者	4	4
2024年2月16日	神愛会の理念と歴史 神愛会の組織・事業 事業計画 職員研修 身体拘束廃止 就業の知識 倫理綱領 深和ホーム見学	主催 研修委員会 理事長・部門管理者	新採用者	4	4
2023（令和5）年5月8日（月）～5月22日（月）までに視聴	講師 「事故を防止するために 私たちができること」 講師 特別養護老人ホーム愛の園 園長 崎山賢士	場所 社会福祉法人神愛会が作成した研修用動画「事故を防止するために 私たちができること」を視聴（視聴時間27分程度） https://youtu.be/DV16Hgp9YkM	社会福祉法人神愛会 全職員	87	87
2023（令和5）年6月27日（火）～7月11日（火）までに視聴	「感染症対策について ～基礎から学ぶ感染症対策～」 講師 特別養護老人ホーム愛の園 園長 崎山賢士	場所 社会福祉法人神愛会が作成した研修用動画「感染症対策について ～基礎から学ぶ感染症対策～」を視聴（視聴時間39分程度） https://youtu.be/-9x6Mv9LDUY	社会福祉法人神愛会 全職員	86	86
2023（令和5）年9月7日（木）～9月20日（水）までに視聴	「倫理および法令遵守（コンプライアンス）について」 講師 特別養護老人ホーム愛の園 園長 崎山賢士	場所 社会福祉法人神愛会が作成した研修用動画「倫理および法令遵守（コンプライアンス）について」を視聴（視聴時間21分程度） https://youtu.be/Huzm4yEKwa0	社会福祉法人神愛会 全職員	88	88
2023（令和5）年10月16日（月）～10月27日（金）までに視聴	「仕事の成功率を上げる準備力と失敗を成功に活かす思考力とは」 講師 特別養護老人ホーム愛の園 園長 崎山賢士	場所 仕事の成功率を上げる準備力と失敗を成功に活かす思考力とはを視聴（視聴時間31分程度） https://youtu.be/SktriTeaWtE	社会福祉法人神愛会 全職員	91	91
2023（令和5）年12月8日（金）～12月22日（金）までに視聴	テーマ 冬季に感染する感染症の概要と予防策について 講師 ハクゾウメディカル株式会社 感染管理認定看護師 山佐瞳	「冬季に感染する感染症の概要と予防策について」を視聴（視聴時間24分程度） https://youtu.be/u1dC_b4a69I	社会福祉法人神愛会 全職員	86	86
2024（令和6）年1月29日（月）～2月12日（月）までに視聴	テーマ 共生社会の実現を推進するための認知症基本法と認知症の人の意思決定支援について 講師 特別養護老人ホーム愛の園 崎山賢士	「共生社会の実現を推進するための認知症基本法と認知症の人の意思決定支援について」を視聴（視聴時間28分程度） https://youtu.be/tmEGEqCEJ88	社会福祉法人神愛会 全職員	88	88
2024（令和6）年3月31日（日）～4月14日（日）までに視聴	テーマ 「看取り介護について」 講師 特別養護老人ホーム愛の園 崎山賢士	研修動画「看取り介護について」を視聴（視聴時間30分程度） https://youtu.be/9Q03D31kxU4	社会福祉法人神愛会 全職員	88	88
内部研修 計				548	548

B 外部研修

日程	内容	主催・担当・実施団体等	対象	実数	延人数
2023年4月25日	「カスタマーハラスメントへの対応」 講師 亀井社会保険労務士事務所 特定社会保険労務士 亀井園子氏	和歌山県介護支援専門員協会西牟婁 田辺支部 定例研修会	介護支援専門員	2	2
2023年7月1日	ユニットリーダー研修	一般社団法人 日本ユニットケア 推進センター	ユニットリー ダー	1	1
2023年7月13日	「口腔ケアによる病気への予防効果 ～日々の口腔ケア が長生きへの秘訣～」 講師 和歌山県介護支援専門員協会会長 初山歯科医院 院長 初山昌平氏	和歌山県介護支援専門員協会西牟婁 田辺支部 定例研修会	介護支援専門員	2	2
2023年8月26日	高齢者と医療と人生会議 めぐみ在宅クリニック 小沢竹俊先生 紀南文化会館小ホール	和歌山県介護支援専門員協会西牟婁 田辺支部・田辺圏域医療・介護 連携支援センター共催	介護支援専門員	3	3
2023年8月8日	「排泄ケアの知識」～高齢者によくみられる疾患の特徴 と連携のポイント～ 講師 医療法人 裕紫会 中谷病院 小村隆洋医師	和歌山県介護支援専門員協会西牟婁 田辺支部 定例研修会	介護支援専門員	3	3
2023年10月28日	認知症爆発の時代を迎える日本 からし種在宅クリニック 小野道夫先生 会場 big-U 多目的ホール	田辺圏域医療・介護連携支援セン ター 公開講座	介護支援専門員	2	2
2024年10月23日	「身寄りのない人や認知症の人の意思決定支援を知ら う」 講師 静岡福祉大学 社会福祉学部 福祉心理学科 教 授 梅木博之先生 田辺市民総合センター 2階 交流ホール	和歌山県介護支援専門員協会西牟婁 田辺支部 定例研修会	介護支援専門員	3	3
2023年12月9日	訪問看護ステーション連絡協議会との共催事業 「訪問看護事業所とケアマネジャーのかかわり方 ～よ り良い支援を求めて～」 田辺市民総合センター 4回交流ホール	和歌山県介護支援専門員協会西牟婁 田辺支部 和歌山県訪問看護ス テーション連絡協議会	介護支援専門員	2	2
2024年3月5日	「支援のモヤモヤを考えてみよう！」 ～なんだろう？ 一生懸命やっているんだけどしっくり こないことってありませんか？～ 講師 標語県立大学 准教授 竹端寛先生	和歌山県介護支援専門員協会西牟婁 田辺支部 定例研修会	介護支援専門員	1	1
外部研修 計				8	8

内部研修	外部研修	合計	556	556
------	------	----	-----	-----

C 研究大会・学会等

日程	研究大会・学会等	主催・担当・実施団体等	対象	実数	延人数
2023年6月17日（土） ～18日（日）	日本ケアマネジメント学会 第22回研究大会 テーマ 共生社会におけるケアマネジメント-高齢者 社会への新たな展開	日本ケアマネジメント学会	介護支援専門員	1	1
2024年3月22日（土） ～23日（日）	日本介護支援専門員協会第21回近畿ブロック研究大 会inひょうご	日本介護支援専門員協会	介護支援専門員	1	1
外部研修 計				1	1

D メディカルケアステーションによるケアに関わる参考資料の配信

法人内で構築している閉鎖型SNS「メディカルケアステーション」を活用して、ケアに関わる参考資料を月から土曜日に配信している。この配信を受け取った者は必ずその内容を確認し、SNSの機能として準備されている「グッド」ボタンを押すこととしている。

日程	内容	著者等情報	対象		
2023年9月30日～10月23日	「高齢者のからだと病気図鑑」	おはよう21 2023年11月号特集	社会福祉法人神愛会 全職員		
2023年10月25日～2023年11月9日	「チェックリストで点検 ケアに潜む“虐待リスク”」	おはよう21 2023年12月号特集	社会福祉法人神愛会 全職員		
2023年12月2日～2023年12月15日	「介護”困った”を解決する 認知症の人を不安にさせない介護術」	おはよう21 2024年1月号特集	社会福祉法人神愛会 全職員		
2024年1月3日～1月11日	「とらえ方で支援が変わる 認知症ケアのキーワード」	おはよう21 コラム	社会福祉法人神愛会 全職員		
2024年1月22日～2024年2月29日	「おはよう21」に連載「認知症の人が見ている世界と生活支援」	おはよう21 コラム	社会福祉法人神愛会 全職員		
2024年3月2日～2024年3月31日	「認知症の人を”かたくなな気持ち”にさせる18のNG対応」	おはよう21 2024年2月号特集	社会福祉法人神愛会 全職員		

2023年度 ボランティア状況

A 定期ボランティア

期間	内容	延人数	氏名・グループ名・活動名
通年 週単位			
通年 月単位	愛の園花壇等の手入れ	182	グリーンボランティア
計		182	

B 不定期ボランティア

月	内容	延人数	氏名・グループ名・活動名
5月			
7月			
9月			
11月			
12月			
計		0	
定期・不定期合計		182	

【2023 年度 入居者・利用者の状況】

A 特別養護老人ホーム愛の園(定員90名)

(1)入居者数

	人数	対定員
2022末 入居者数(a)	77	85.5%
2023内 退居者数(b)	23	25.5%
2023内 入居者数(c)	21	23.3%
2023末 入居者数(a-b+c)	75	83.3%
月間平均入居者数	76.5	85.0%
23年度延べ入居者数	28078	

(2)年齢別構成 2023年3月31日現在

	～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～	計
男性	0	0	1	0	2	3	3	9
女性	1	2	0	2	14	19	28	66
計	1	2	1	2	16	22	31	75
構成比(%)	1.3%	2.7%	1.3%	2.7%	21.3%	29.3%	41.3%	
2022年度	1	2	2	4	13	18	40	80

(3)要介護度別構成

	1	2	3	4	5	計
男性	0	0	3	4	3	10
女性	0	1	10	21	33	65
計	0	1	13	25	36	75
構成比(%)	0.0%	1.3%	17.3%	33.3%	48.0%	100.0
2023年度	0	1	16	34	29	80

(4)入居年数別構成

	～1年	～3年	～6年	～9年	10年～	計
男性	5	4	0	0	0	9
女性	16	14	19	12	5	66
計	21	18	19	12	5	75
構成比(%)	17.5	31.3	35.0	10.0	6.2	100.0
2023年度	21	26	24	5	4	80

(5)待機者状況

	2017末	2018末	2019末	2020末	2021末	2022末	2023末
男性	20	17	25	32	28	40	31
女性	28	23	47	45	38	54	39
計	48	40	72	77	66	94	70

B ショートステイ(短期入所生活介護・定員 10 名)利用状況

(1)月別利用者数

	利用実人数			利用延人数			日平均
	男性	女性	合計	男性	女性	合計	
4月	2	26	28	16	191	207	6.9
5月	3	25	28	17	215	232	7.5
6月	3	29	32	22	238	260	8.7
7月	6	26	32	39	269	308	9.9
8月	10	33	43	130	301	431	14
9月	8	31	39	117	226	343	11.4
10月	16	20	36	172	151	323	10.4
11月	8	33	41	51	264	315	10.5
12月	8	35	43	49	303	352	11.3
1月	8	28	36	50	254	304	9.8
2月	9	27	36	66	287	353	12.1
3月	9	24	33	59	293	352	11.3
合計	90	337	427	788	2992	3780	10.3

(2)利用者数の推移

	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	対前年比%
年間利用者数	1736	1142	646	1799	3780	210.1
1 月平均利用者数	144.7	95.2	53.8	150	315	210
1 日平均利用者数	4.7	3.1	1.8	4.9	10.3	210.6

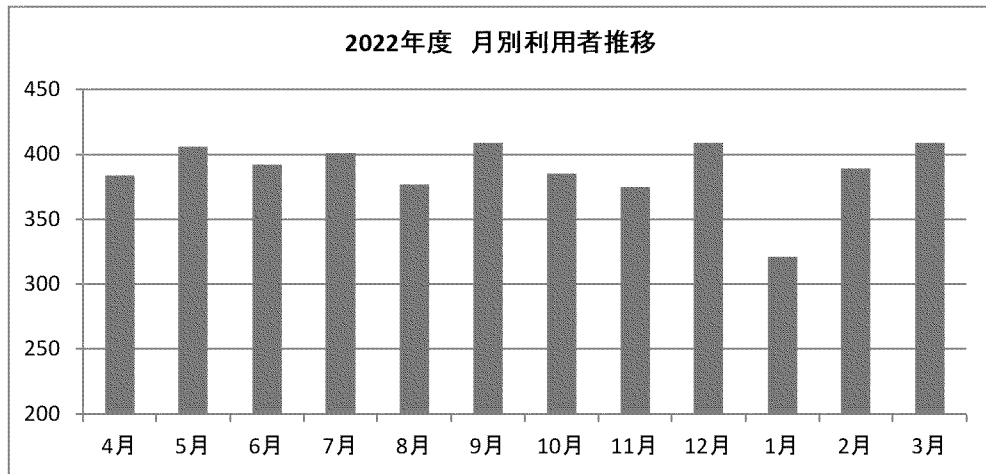
(3)介護度別利用状況

	支 1	支 2	介 1	介 2	介 3	介 4	介 5	合計
実人数	1	5	54	86	141	72	68	427
延人数	2	27	242	686	1095	865	841	3758
構成比%	0.1	0.7	6.4	48.3	29.1	23	22.4	100
2023 延人数	2	27	242	686	1095	865	841	3758

C デイサービスセンター愛の園(定員35名)

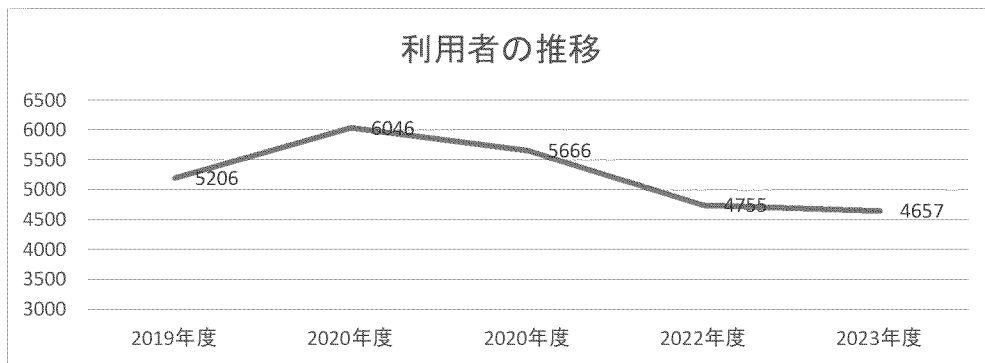
(1) 利用者月別推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
延利用者合計	384	406	392	401	377	409	385	375	409	321	389	409	388
1日平均利用者	14.8	15.6	15.1	14.9	14.5	15.7	14.3	15.0	16.4	13.4	16.2	15.1	17.8



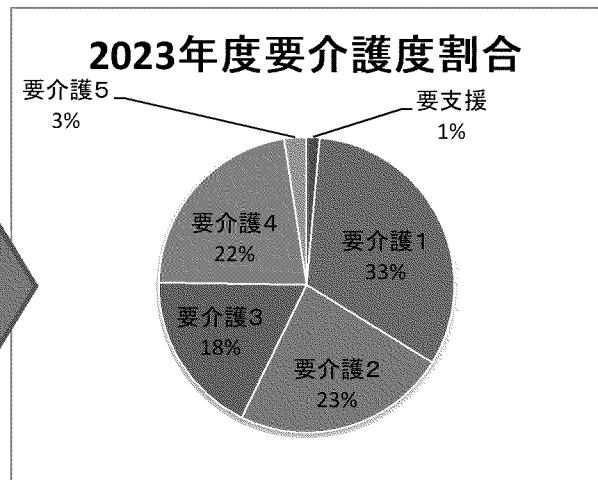
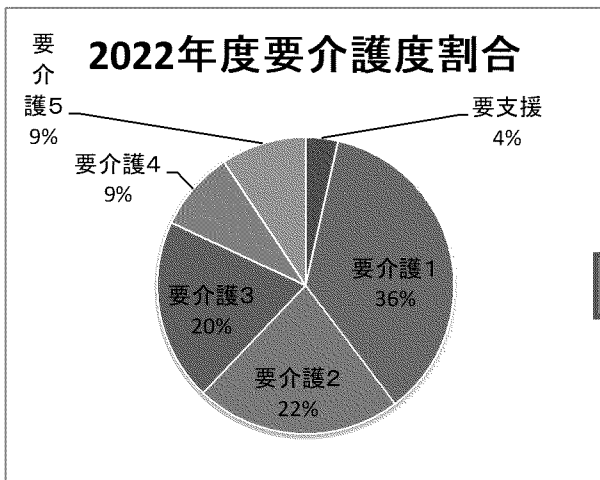
(2) 利用者数の推移

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	前年度との増減費(%)
延利用人員	5206	6046	5666	4755	4657	83.9%
1日平均利用者数	17.8	19.5	18.2	17.8	15	97.8%



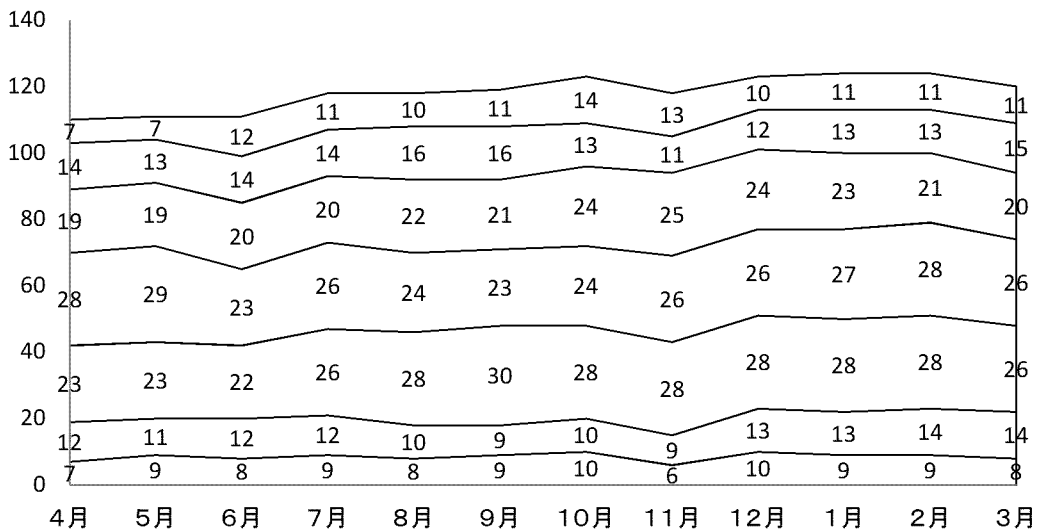
(3) 介護度別利用状況

要介護度	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
2022年度延利用回数	80	1837	1327	1019	1264	139	5666
構成比(%)	1.4%	32.4%	23.4%	18.0%	22.3%	2.5%	
2023年度延利用回数	164	1684	1045	923	407	434	4657
構成比(%)	3.5%	36.2%	22.4%	19.8%	8.7%	9.3%	

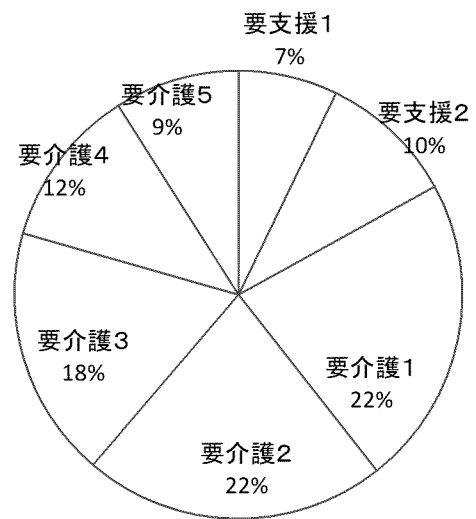
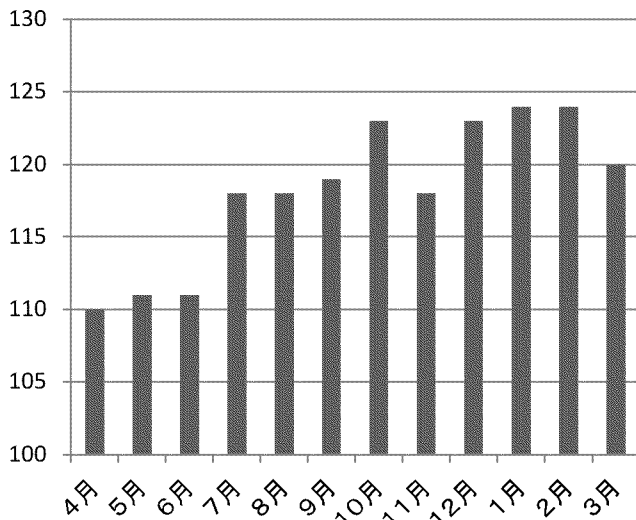


D. 居宅介護支援事業者愛の園

2023年度	月	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
計画作成人数	4月	7	12	23	28	19	14	7	110
	5月	9	11	23	29	19	13	7	111
	6月	8	12	22	23	20	14	12	111
	7月	9	12	26	26	20	14	11	118
	8月	8	10	28	24	22	16	10	118
	9月	9	9	30	23	21	16	11	119
	10月	10	10	28	24	24	13	14	123
	11月	6	9	28	26	25	11	13	118
	12月	10	13	28	26	24	12	10	123
	1月	9	13	28	27	23	13	11	124
	2月	9	14	28	28	21	13	11	124
	3月	8	14	26	26	20	15	11	120
	計		102	139	318	310	258	164	128



□ 要支援1 □ 要支援2 □ 要介護1 □ 要介護2 □ 要介護3 □ 要介護4 □ 要介護5



E 有料老人ホーム深和ホーム

(1) 入居状況

入居戸数（居室数 34 室）

	入居数	入居率%
2023 年度		
2022 年度	25	73.5
2021 年度	25	73.5

	戸数
入居数	
退居数	
増減	

入居者数

	男性	女性	計
人数			
構成比(%)			
2023 年度			

入退居

	人数
入居数	
退居数	
増減	

(2) 年齢別構成

2022 年度	～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～	計
男性								
女性								
計								
構成比(%)								
2022 年度	0	0	0	7	4	5	9	26

平均年齢 全体 歳 男性 歳 女性 歳

(3) 要支援・要介護認定状況

	支援 1	支援 2	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	未認定	計
男性									
女性									
計									
構成比(%)									
2022 年度	0	4	3	3	0	3	1	12	

(4) 都府県別入居者数

和歌山	大阪	京都	兵庫	奈良	三重	東京	愛知	広島	その他	合計

2024 年 3 月 31 日現在

F 介護員養成研修事業

(1) 実施状況

介護職員初任者研修（通信）

実施期間	
実施場所	
受講料	
参加者	

2022年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、実施することができませんでした。